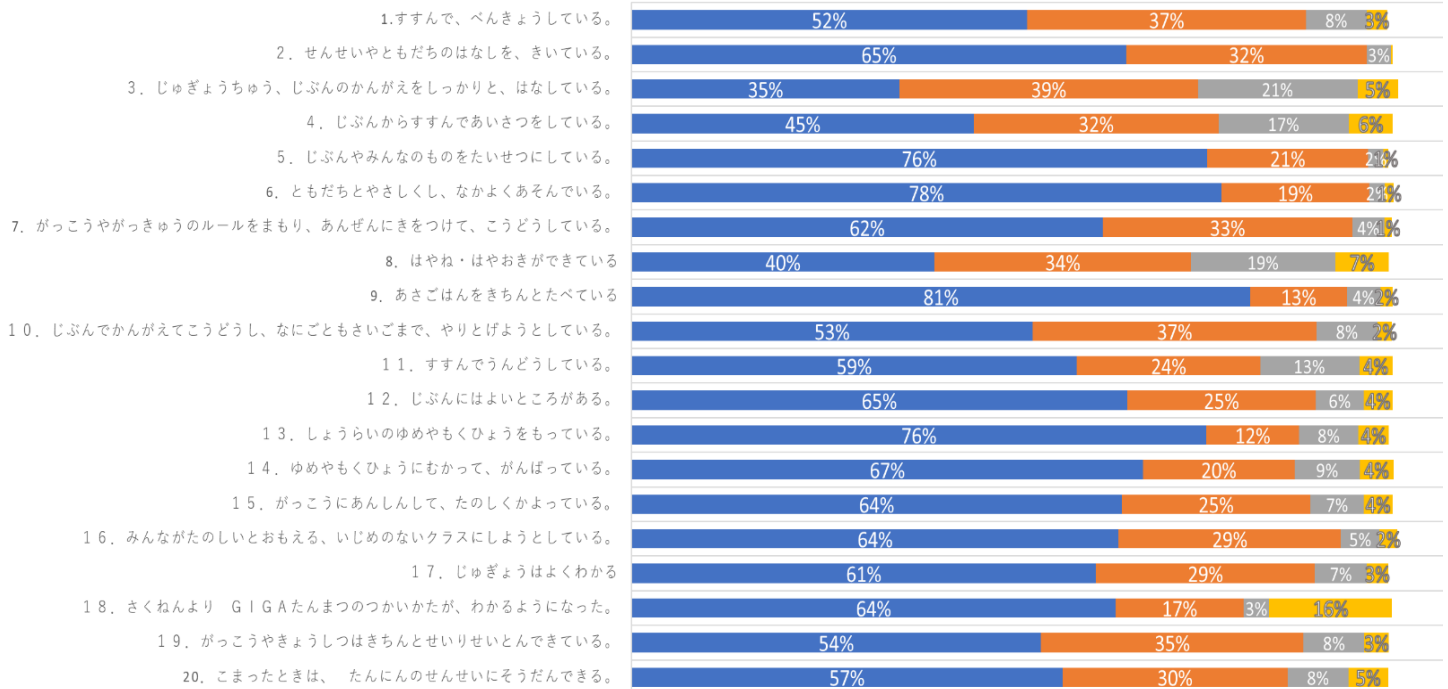


学校評価アンケート 結果・考察号

お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。7月に実施しました学校評価アンケートの集計がまとまりましたので、その結果と考察、また今後の取組についてお知らせいたします。

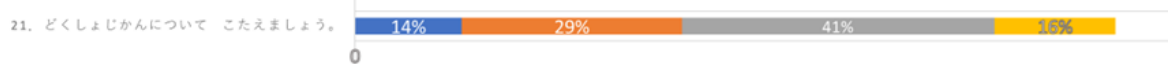
児童 アンケート

■ 出来ている ■ 大体出来ている ■ あまり出来ていない ■ 出来ていない



読書時間について

■ 1時間以上 ■ 30分ほど ■ 10分ほど ■ 読まない

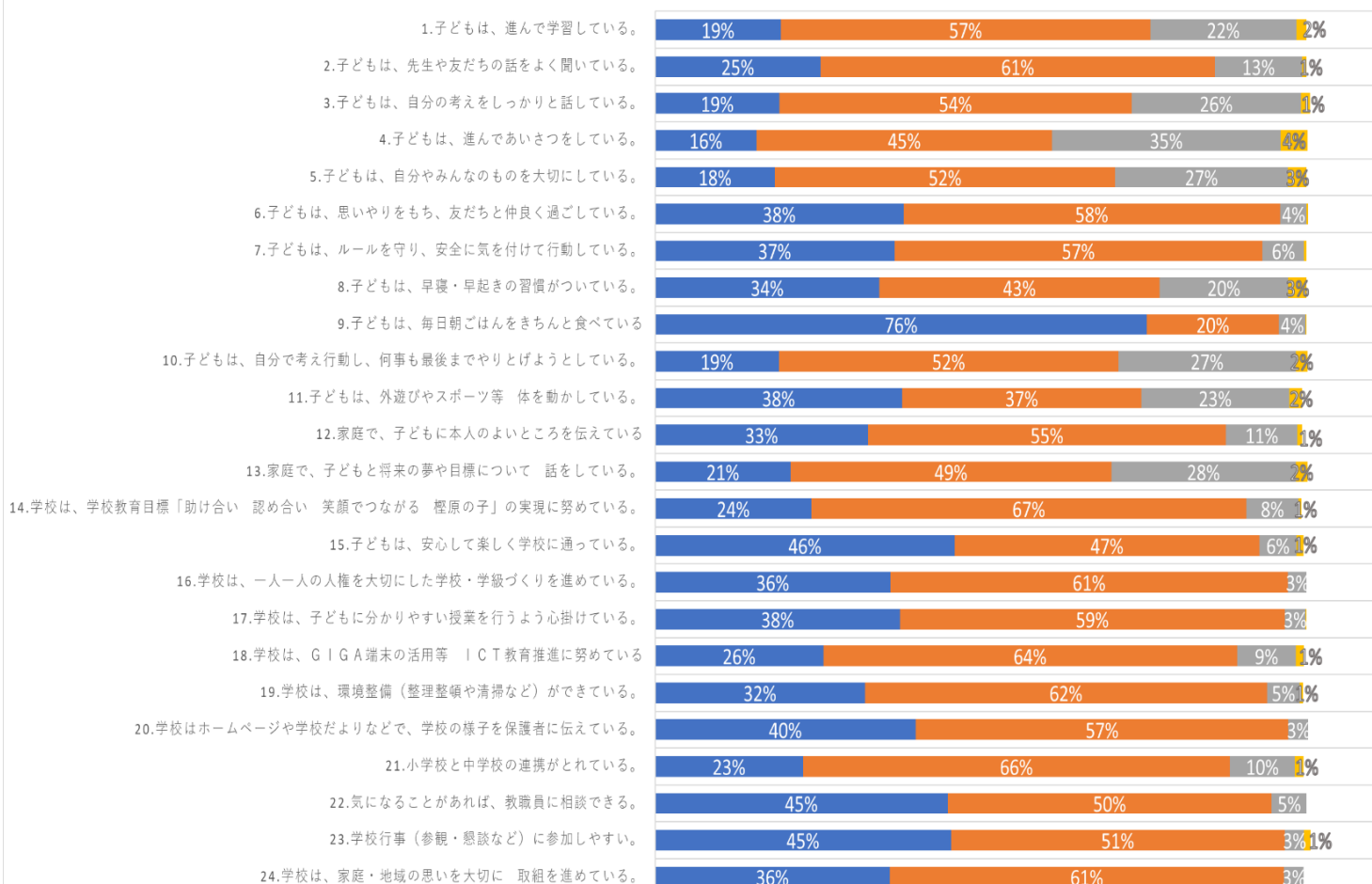


【児童アンケート結果より】

- ◎
- ・②「先生や友だちの話を聞いている」(95%)、⑰「授業はよくわかる」(90%)、①「進んで勉強している」(89%)では、約9割以上の児童が「できている」「だいたいできている」と回答しており、学習に前向きに取り組んでいる様子が見えられます。
 - ・⑥「友だちにやさしくし、仲良く遊んでいる」(97%)、⑯「いじめのないクラスにしようとしている」(93%)、⑮「学校に安心して楽しく通っている」(89%)、⑨「ルールを守り安全に行動している」(94%)では、高い肯定的回答が見られました。友達との関わりや安心して過ごせる学校生活について、多くの児童が前向きに捉えていることが分かります。
 - ・⑬「将来の夢や目標をもっている」(88%)、⑱「GIGA 端末の使い方が分かるようになった」(87%)なども肯定的な回答が9割近くの児童が肯定的な回答をしており、自分の将来や学習環境に対する意識が高まっている様子が見られます。
- ▲
- ・③「授業中、自分の考えをしっかりと話している」では肯定的回答が74%となり、全項目の中でも低い結果となりました。昨年度から継続して見られる課題であり、自分の考えや思いを言葉で伝えることに難しさを感じている児童が一定数いることがうかがえます。
 - ・⑳「早寝・早起きができている」では肯定的な回答が74%にとどまり、「あまりできていない」「できていない」と回答した児童が3割弱見られました。生活リズムや基本的な生活習慣について、継続した取組が必要であると考えられます。
 - ・読書時間については、「30分以上読書をしている」児童は40%であり、「10分以下」「読まない」が57%となりました。読書習慣の定着や本に親しむ機会の充実が今後の課題として考えられます。
 - ・④「進んであいさつをしている」(77%)、⑪「進んで行動している」(83%)の項目は、他の項目と比較するとやや低い結果でした。

保護者 アンケート

■ 出来ている ■ 大体出来ている ■ あまり出来ていない ■ 出来ていない



【保護者アンケート結果より】

◎

・⑥「子どもは、思いやりをもち、友だちと仲良く過ごしている」（96%）、⑤「子どもは、安心して楽しく学校に通っている」（93%）、⑩「学校は、一人一人の人権を大切にした学校・学級づくりを進めている」（97%）では、9割を超える保護者が肯定的な回答をしていました。子どもたちが友達との関わりを大切にしながら安心して学校生活を送っていることがうかがえます。

・⑨「子どもは、毎日朝ごはんをきちんと食べている」では、約9割の保護者が肯定的に回答しており、基本的な生活習慣の定着に向けて家庭で支えていただいていることが分かります。

・⑧「学校は、GIGA 端末の活用等 ICT 教育推進に努めている」、⑳「学校はホームページや学校だよりなどで学校の様子を保護者に伝えている」についても 9 割程度の高い評価が見られ、学校の取組について多くの保護者に理解していただいていることが分かります。

▲

・④「子どもは、進んであいさつしている。」では、児童の5割弱が出来ていると答えているが、保護者や教職員のうち、出来ていると感じているのは1割強となっています。児童は挨拶をしているつもりではあるが、相手や周りの大人に十分に伝わっていないと言えます。昨年度から継続して課題として捉えている項目であり、保護者アンケートにおいても引き続き課題として表れています。

・③「子どもは、自分の考えをしっかりと話している」では、肯定的な回答が73%でした。また、⑩「子どもは、自分で考え行動し、何事も最後までやりとげようとしている」についても71%となりました。これらは昨年度から継続して見られる課題です。

・㉑「小学校と中学校の連携がとれている」については、肯定的な回答が89%でしたが、「分からない」といったご意見もいただきました。



【今後の対策・取組】

学校評価アンケートの結果から、①進んであいさつをすること ②自分の考えをしっかりと話すこと ③自分で考えて行動し、最後までやり遂げることの3点が、保護者・教職員に共通する課題として見えてきました。

そこで教職員全員で結果を共有し、「子どもたちにどのような力をつけたいか」「そのためにどのような取組ができるか」について話し合いました。

項目	現状（アンケート結果より）	今後の取組
①あいさつについて	・児童・保護者・教職員アンケートにおいて共通の課題として挙げられている。 ・児童自身はできていると感じている一方で、保護者や教職員との間には認識の差が見られる。	・教職員が率先して挨拶を行い、子どもたちのよい姿を積極的に認めていく。 ・「あいさつは人と人をつなぐ第一歩」であることを意識し、友達や先生、地域の方との関わりの中で、気持ちのよいあいさつができるよう取り組んでいく。学校内でのあいさつを大切にしながら、学校外でも自分からあいさつできる児童を育てていく。 ・学校生活の様々な場面であいさつのよさを実感できる機会を増やしていく。 ・高学年による自主的なあいさつ運動を今後も学校全体へ広げていく。
②自分の考えをしっかりと話す力	・児童アンケートでは肯定的回答が74%にとどまっている。 ・保護者・教職員アンケートにおいても継続した課題として挙げられている。	・安心して話せる学級づくりを進めるとともに、ペア学習やグループ活動を充実させる。 ・話す力だけでなくよりよい聞き手の育成にも取り組み、一人一人が自分の思いや考えを伝え合うことができるよう支援していく。
③主体性・やり抜く力	・「自分で考えて行動し、最後までやり遂げること」は保護者・教職員共通の課題。 ・児童の主体的な行動や継続して取り組む姿勢の育成が求められる。	・子ども自身が選択・判断する場面を意図的に設定し、小さな成功体験を積み重ねる。 ・結果だけでなく過程も認めながら、自ら考えて行動する力を育てていく。
児童の主体的な学校づくりへの参画	・昨年度、5・6年生に学校評価アンケートの結果を伝えたところ、委員会活動や学校生活の中で課題を自分事として捉えようとする姿が見られた。 ・自主的なあいさつ運動も、今年度行われている。	・今年度もアンケート結果を児童に伝え、自分たちの学校のよさや課題について考える機会を設ける。 ・委員会活動や児童会活動と連携しながら、子どもたち自身が学校づくりに主体的に関わる力を育てていく。
読書習慣	・30分以上読書をしている児童は半数を下回り、読書習慣の定着が課題となっている。 	・朝読書を継続し、落ち着いて読書に親しむ時間を確保する。 ・読書週間における図書委員会の取組や異学年での読み聞かせ活動を通して、本に親しむ機会や学年を越えた交流を充実させ、読書への関心を高める。 ・今後も図書サポーター「木いちごの会」の皆様にご協力していただき、読み聞かせやイベントを継続し、本と出会う機会を増やす。

【自由記述欄より】 自由記述欄において、たくさんのご意見をいただきました。

◎ 保護者の皆様からいただいた声	・「子どもが毎日楽しく学校に通っている」「学校が安心できる居場所になっている」「先生方に感謝している」といった温かい励ましのお言葉を多数いただきました。 ・「学校が楽しい」「先生が好きだから学校に行きたい」「安心して学校に通えている」といった声も多く寄せられました。 ・ご家庭では、「一緒に読書をする」「宿題や学習を見守る」「料理や家庭菜園を楽しむ」「スポーツや習い事を応援する」「学校であった出来事を毎日話す」など、子どもとの時間を大切にされている様子が多く寄せられました。		
▲ ご意見・課題	<table><tr><td data-bbox="304 707 799 1464"> 【内容】 ・「地域で挨拶をしない子が増えた」「高学年になるほど挨拶が少ない」「自分から挨拶できるようになってほしい」といった声を複数いただきました。 ・「土曜日や日曜日に行事を開催してほしい」「参観の機会を増やしてほしい」「運動会や校外学習をさらに充実させてほしい」といったご意見がありました。 ・「学校での様子をもっと知りたい」「小中連携の取組が見えにくい」「学校での出来事を知らせてほしい」など、情報発信に関するご意見もいただきました。 </td><td data-bbox="799 707 1544 1464"> 【学校の取組・回答】 ⇒アンケート結果においても「あいさつ」は保護者・教職員共通の課題として挙げられており、学校としても重点的に取り組んでいきたいと考えています。 ⇒学校行事は、児童の学習活動や安全面に加え、京都市教育委員会の方針や西京東支部の各校との連携も踏まえて実施しています。いただいたご意見を参考にしながら、今後もよりよい行事となるよう工夫してまいります。 ⇒情報発信については、学校だよりやホームページ等を活用し、学校での子どもたちの様子や教育活動、小中連携の取組等がより伝わるよう工夫してまいります。 </td></tr></table>	【内容】 ・「地域で挨拶をしない子が増えた」「高学年になるほど挨拶が少ない」「自分から挨拶できるようになってほしい」といった声を複数いただきました。 ・「土曜日や日曜日に行事を開催してほしい」「参観の機会を増やしてほしい」「運動会や校外学習をさらに充実させてほしい」といったご意見がありました。 ・「学校での様子をもっと知りたい」「小中連携の取組が見えにくい」「学校での出来事を知らせてほしい」など、情報発信に関するご意見もいただきました。	【学校の取組・回答】 ⇒アンケート結果においても「あいさつ」は保護者・教職員共通の課題として挙げられており、学校としても重点的に取り組んでいきたいと考えています。 ⇒学校行事は、児童の学習活動や安全面に加え、京都市教育委員会の方針や西京東支部の各校との連携も踏まえて実施しています。いただいたご意見を参考にしながら、今後もよりよい行事となるよう工夫してまいります。 ⇒情報発信については、学校だよりやホームページ等を活用し、学校での子どもたちの様子や教育活動、小中連携の取組等がより伝わるよう工夫してまいります。
【内容】 ・「地域で挨拶をしない子が増えた」「高学年になるほど挨拶が少ない」「自分から挨拶できるようになってほしい」といった声を複数いただきました。 ・「土曜日や日曜日に行事を開催してほしい」「参観の機会を増やしてほしい」「運動会や校外学習をさらに充実させてほしい」といったご意見がありました。 ・「学校での様子をもっと知りたい」「小中連携の取組が見えにくい」「学校での出来事を知らせてほしい」など、情報発信に関するご意見もいただきました。	【学校の取組・回答】 ⇒アンケート結果においても「あいさつ」は保護者・教職員共通の課題として挙げられており、学校としても重点的に取り組んでいきたいと考えています。 ⇒学校行事は、児童の学習活動や安全面に加え、京都市教育委員会の方針や西京東支部の各校との連携も踏まえて実施しています。いただいたご意見を参考にしながら、今後もよりよい行事となるよう工夫してまいります。 ⇒情報発信については、学校だよりやホームページ等を活用し、学校での子どもたちの様子や教育活動、小中連携の取組等がより伝わるよう工夫してまいります。		



たくさん温かい言葉や貴重なご意見をありがとうございました。本校では研究主題として「つながる力」の育成に取り組んでいます。今回の課題である「あいさつ」「話す力」「主体性」は、いずれも人とつながり、自分らしく社会と関わるための土台となる力です。今後も、本校が大切にしている「つながる力」の育成を中心に、子どもたち一人一人が安心して学び、自分の思いや考えを伝え合いながら成長できる学校づくりを進めてまいります。

また、いただいたご意見を今後の教育活動に生かし、学校・家庭・地域が連携しながら「助け合い 認め合い 笑顔でつながる 榎原の子」の育成を目指し、子どもたちの成長を支えていきたいと考えております。教職員一同、これからも子どもたちの健やかな成長を願い、力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。気になることやご不明な点等がございましたら、いつでも学校までご相談ください。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

